



# 西堀小だより

【校訓】 禮儀（れいぎ） 質朴（しつぽく） 自治（じち）  
【教育目標】 やさしく かしこく たくましく

2月号 令和8年1月30日発行  
児童数 375名  
新座市西堀 2-18-3  
TEL 042 (491) 6671  
FAX 042 (495) 8848

## 秘めた力を引き出す

校長 鶴田千尋

1月は、書きぞめ展や美術展、合同展覧会等へ作品を出品し、多くの賞を取ることができました。様々な分野での頑張りの証といえるのではないのでしょうか。

また、28日には、子供たちが中心になって企画・運営した異年齢集団活動である「なかよしフェスティバル」が開催されました。高学年を中心に、楽しみながらも、みんなで仲良くするというめあてを達成することができました。よい経験になったのではないのでしょうか。

### 歳寒梅花

季節の移ろいが感じられる今の時期は、梅の花もほころび始めます。梅は中国から伝わり、奈良時代には日本を代表する花とされていました。当時、和歌に詠まれる花の中心は、いまの桜ではなく梅であったことが知られています。厳寒の中で静かに香りを放つ姿から「歳寒の花」と称され、忍耐や節操の象徴として長く尊ばれてきました。外からは見えにくくも、内側に力を蓄える梅の姿は、成長の本質を示すものともいえるのではないかと思います。

教育も、梅の姿に重なる部分が多くあります。子供たちの学びは、成果がすぐに表れるとは限りません。地道な努力、試行錯誤からの気づき、仲間との関わりによる内面的な成長など、外形だけでは測れない変化が多くあります。こうした過程が積み重なることで、ある瞬間に力が発揮され、成長が目に見える形となります。私たち大人は、結果を性急に求めるのではなく、子供が力を蓄えている時期を尊重し、適切な支

援と環境づくりに努める必要があります。

学校では、そんな子供たちの秘めた力を引き出すことを第一に指導を行っています。授業改善や学習習慣の定着に向けた取組もその一環です。テストの直しや、漢字練習、繰り返しの計算など少しずつ、子供たちの地力をつけるようにしています。保護者の皆様にも、日々の子供の努力に目を向け、温かく見守り、励ましの言葉をかけていただくことをお願いしています。御家庭における声掛けは、きっと子供たちの学びに向かう姿勢を支える大きな力となるものです。

### 鬼は外、福は内

もうすぐ節分の日を迎えます。節分では「鬼は外、福は内」と言って豆まきをします。豆まきの時の鬼だけでなく、一人一人の心の中にも“鬼”はいるものです。たとえば、すぐにあきらめてしまう「へこたれ鬼」、面倒くさいと思ってしまう「なまけ鬼」など、だれの心にも小さな鬼がいることがあります。

しかし、その鬼を追い出す力を持ってほしいと思います。それは、あきらめそうな時に「もう一回やってみよう」と思う力。面倒でも、まずは手を動かしてみる力などです。こうした力が心の中の鬼を追い出します。

そして、鬼を追い出した心には、「がんばる福」「やさしさの福」など、よい心が入ってきます。今年の節分は、鬼を追い出し、福を呼び込むように頑張りたいと思います。